

社会教育団体月別利用申し込み状況

50年3月1日現在

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ボーイスカウト					1								1
ガールスカウト		2			2		1	1					6
子ども会				5	2								7
リーダー講習会	1	1	3	2	2	1							10
スポーツ少年団		1	2	7	2								12
その他	2		2	4			1						9
計	2	3	2	12	18	2	2	2	2				45

50年度管内月別利用申し込み状況(学校) 49年12月15日現在

管内	学校	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
北	小	1	4	8	4	1	1	4	3	2				28
	中				3		1							4
	特				1									1
中	小	3	7	13	3	1	7	9	8	4	7	4	4	70
	中	2	3				7	2	2			1		17
	特				1	1								2
南	小	1	4		2		1	5	1				2	16
	中													
	特													
津	小	1		2	1		1							5
	中	2												2
	特													
相	小		1			2	1							4
	中													
	特													
いわき	小	1	1	2	2		2		1	1	6	3	2	21
	中	3							1	1				5
	特													
総計		14	20	25	18	5	21	21	17	7	13	10	6	177

二、五十年年度利用申し込み状況

昭和49年度利用状況

種別	小学校		中学校		社会教育団体		計		
	学校数	人員	学校数	人員	団体数	人員	学校数	人員	研修延べ人員
4	5	462	5	439	4	230	14	1,131	2,680
5	20	1,707	4	337	4	226	28	2,270	5,722
6	22	1,911	1	269	6	340	29	2,520	6,177
7	14	1,600	1	122	14	903	29	2,631	6,730
8	4	339	2	133	24	1,338	38	1,810	4,893
9	13	1,280	5	613	3	315	21	2,208	5,443
10	20	1,836	2	340	6	440	28	2,616	5,854
11	5	689	1	117	7	316	13	1,122	2,641
12	3	332	0	0	8	400	11	732	1,915
1	5	455	0	0	4	202	9	657	1,401
2	7	812	0	0	9	496	16	1,308	2,970
3	0	0	0	0	6	313	6	313	731
計	118	11,423	21	2,370	95	5,519	234	19,312	47,157

冬季の利用が大きくのびてきていることが目立つ。雪の経験の少ない浜通りの子どもたちが雪の中で友情を分かち合うことができることは貴重な体験であらう。

社会教育団体のあと一息の利用を期待したい。  
三、前年度の利用状況

主な研修内容

研修内容	学校	社教	計	
レクレーション	ゲーム活動	61	25	86
	野外ゲーム	37	13	50
	音楽ダンス	57	27	84
スポーツ活動	屋内	15	10	25
	屋外	8	8	16
	水泳	17	18	35
	そり	8	8	16
野外活動	キャンプ	47	3	50
	テント設営	30	3	33
	野外炊飯	53	13	66
	キャンプファイヤー	130	38	168
その他の活動	登山	37	2	39
	フィールドワーク	117	9	126
	O.L	17	4	21
	ハイキング	17	5	22
その他の活動	自然観察	15	2	17
	映画	15	7	22
	奉仕活動	17	6	23
	自由活動	7	1	8
その他の活動	討議集会	17	28	45
	交歓のつどい	35	11	46

六、各団体の研修内容

五、利用許可申請書の取り扱い方  
「少年自然の家利用許可申請書」は利用の三十日前に四部作成(一部控え)し、三部を各市町村教育委員会へ提出すると、各教育事務所を経て、少年自然の家へ届けられる。折り返し各団体へ、使用許可書が発行される。

四、利用に際しての事前打ち合わせ  
より充実した研修が展開できるように、事前打ち合わせを重視している。事前打ち合わせ案内通知に従って、各団体の利用の目的や実態にそった研修計画(素案)を持参し、昼食の試食も兼ねて五時間前後使って打ち合わせを行う。研修計画の検討、施設職員と引率者との連携、他団体との調整、現地踏査、場合によってはキャンプファイヤー等の実技指導を伴うこともありキメ細い打ち合わせをしている。

事業名	御霊櫃峠つつじめぐり
目的	御霊櫃峠一帯の新緑、つつじを探勝しながら共同宿泊、野外レクの楽しみを求めさせる。
期日	6月21日(土)~22日(日) (1泊2日)
対象	親子、兄弟(姉妹)など家族単位で参加
	1. キャンドルファイヤー 2. ハイキング 3. レクリエーション交歓会
講師助言者	地方講師、県教育庁職員(教育事務所職員)、所員
備考	参加者 120名、原則として小学生以上

七、本年度の主催事業  
望ましい親子の触れ合い、兄弟(姉妹)のいたわり合いを求めて次のような主催事業が持たれる。  
(1) 春の主催事業